

## 第 60 回政策研究大学院大学経営協議会議事要旨

- 日 時 : 平成 28 年 6 月 23 日 (木) 15:30~16:25
- 場 所 : 政策研究大学院大学 会議室 3C
- 出席者 :
  - 〔学外委員〕  
石田委員、老川委員、奥委員、小野委員、加藤委員、工藤委員、嶋津委員、林委員、早房委員
  - 〔学内委員〕  
白石学長、大山理事、角南副学長、園部副学長、増山副学長、横道副学長、今野学長特別補佐、中野大学運営局長
- 欠席者 :
  - 〔学外委員〕  
中邨委員
  - 〔学内委員〕  
なし

### I. 審議事項

1. 平成 27 事業年度及び中期目標期間(平成 22~27 年度)に係る実績報告書について  
資料に基づき、中野大学運営局長から、平成 27 事業年度及び第 2 期中期目標期間(平成 22~27 年度)に係る実績報告書の概要等について説明があり、これを了承した。

- ◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。(○:学外委員、△:本学)
- :入学志願者の増加について、志願者はどういった分野の人か。
- △:ミッドキャリアの行政官が圧倒的に多数である。日本人の中堅のビジネスマンにももっと来て欲しいと思っているが、実際の数は今のところ少ない。
- :プロフェッショナル・コミュニケーションセンターの詳細を教えて欲しい。
- △:本学の学生と教員向けに、プロフェッショナル・コミュニケーションを教えるセンターである。特に最近、剽窃等が非常に大きい問題となっているので、そういったアカデミック・ライティングの常識も教える。その他にも、留学生や外国人教員向けの日本語講座も開いている。
- :チュートリアルは大変時間とお金のかかるものだと思うが、厳しい予算の中でどのようにやったのか。
- △:既に在籍している教員に加え、非常勤教員を採用して行っている。教員 1 名に対して学生 3~4 名でやっている。チュートリアルをすることによって、コースワークから本格的な研究への移行がスムーズになっていると感じている。
- :年俸制教員が 8 名で割合が 8.6%ということだが、これは全国平均からすると良い方なのか。
- △:お調べして、後日ご報告する。

2. 第 2 期中期目標期間終了時における積立金の繰越承認及び国庫納付金計算書の提出について

資料に基づき、中野大学運営局長から、平成 27 年度は第 2 期中期目標期間の最終年度に当たるため、6 月末までに国庫納付金計算書を提出する必要があること、及び現時点の国庫納付見込額について説明があり、これを了承した。

### 3. 平成 29 年度概算要求について

冒頭、中野大学運営局長から、平成 29 年度概算要求について、文部科学省からの事務連絡が未だ届いていないものの、7 月下旬には調書を提出する必要があるため、現時点での方向性を諮るものである旨説明があった。その後、資料に基づき、文部科学省より示される予定の「平成 29 年度国立大学法人運営費交付金の重点支援に係る概算要求の方向性について（案）」の概要、及びこれを踏まえた本学の機能強化の方向性に応じた重点支援に係る概算要求の案について説明があり、これを了承した。

### 4. その他

特になし。

## II. 報告事項

### 1. その他

特になし。

以上。